

令和5年度決算をお知らせします

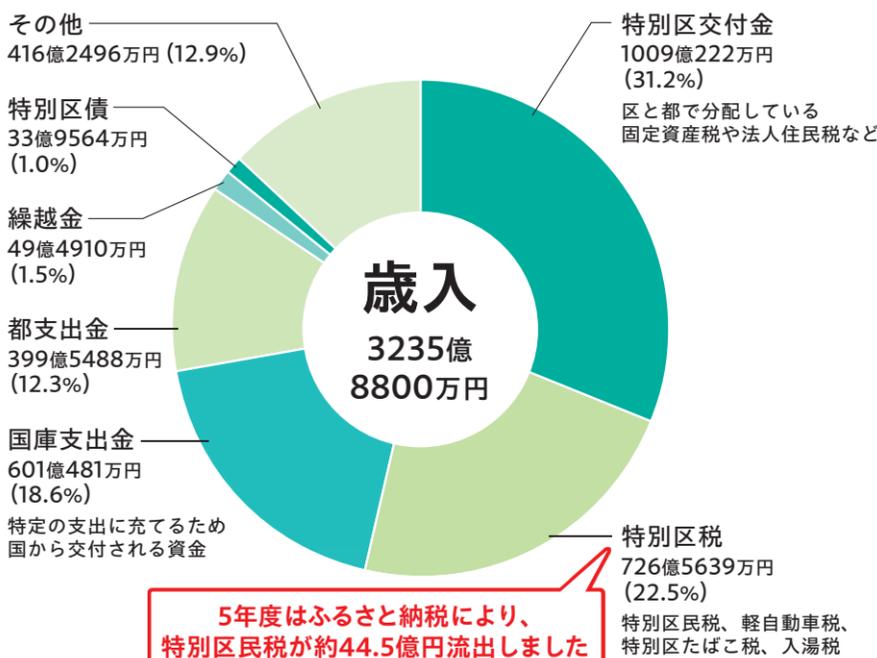
一般会計

5年度の一般会計は、歳入決算額が3235億8800万円、歳出決算額が3152億4009万円でした。

問合せ 財政課 ☎5984-2465

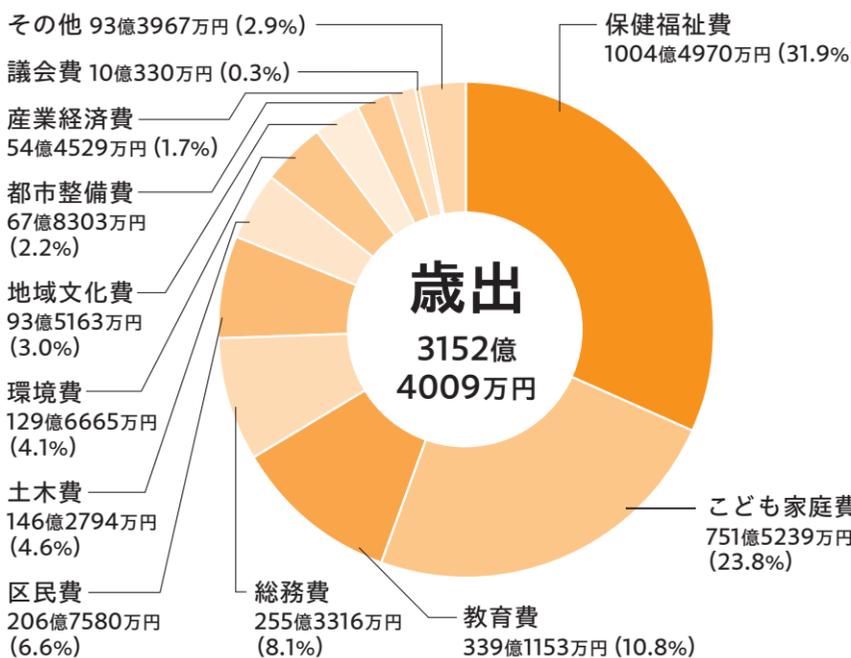
歳入

前年度比0.5%、16億8528万円の増でした。主に国庫支出金が減となり、都支出金などが増となりました。



歳出 (目的別)

前年度比1.0%、30億4647万円の増でした。主に保健福祉費が減となり、教育費などが増となりました。



歳出 (性質別)

前年度に比べて、義務的経費は1.7%の増、投資的経費は17.2%の増、その他の経費は3.6%の減となりました。

区分	決算額 (億円)	構成比 (%)
義務的経費	1692.2620	53.7
人件費	407.2214	12.9
扶助費	1225.1826	38.9
公債費	59.8580	1.9
投資的経費 (普通建設事業費)	307.2634	9.7
その他の経費 (物件費、補助費など)	1152.8755	36.6
計	3152.4009	100

特別会計

特定の収入を使って特定の事業を行う場合、収入や支出を一般会計と分けて経理する会計が特別会計です。5年度の特別会計の決算額は下表の通りです。

会計	収入済額 (億円)	支出済額 (億円)
国民健康保険事業会計	654.8129	649.750
介護保険会計	632.8302	626.9795
後期高齢者医療会計	185.6694	185.4156
公共駐車場会計	3.2164	3.2164

財政健全化判断比率



財政健全化判断比率とは、4つの指標と基準で、地方公共団体の財政の健全性を判定するもので、法律に基づき公表が定められています。区の5年度の状況は、下表の通りです。いずれの比率も法が定めた早期健全化基準を大きく下回り、健全な状態です。

指標	練馬区算定比率	早期健全化基準
実質赤字比率	△3.67%	11.25%
連結実質赤字比率	△4.28%	16.25%
実質公債費比率	△2.5%	25.0%
将来負担比率	△60.6%	350.0%

貸借対照表 (バランスシート)



年度末で区が保有する資産や負債、純資産の内容を一覧表で示したものです。資産の部は固定資産と流動資産の内訳、負債の部は地方債 (特別区債) など将来世代が負担すべき債務、純資産の部は今までの世代が負担してきたものを示しています。

6年3月31日現在

資産の部		負債の部	
固定資産		固定負債	
有形固定資産 (学校・道路・公園など)	1兆3290億8910万円	地方債、退職手当引当金など	851億4086万円
無形固定資産 (ソフトウェアなど)	15億5932万円	流動負債	
投資その他の資産 (基金など)	1004億2561万円	1年内償還予定地方債、預り金など	129億2117万円
流動資産		負債合計	980億6203万円
現金預金	144億895万円	純資産の部	
財政調整基金など	557億614万円	純資産合計	1兆4031億2709万円
資産合計	1兆5011億8912万円	負債・純資産合計	1兆5011億8912万円